



「尚徳」2月号 第557号 平成31年2月26日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明 附属学校部長 (元校長)



附小における教育・研究成果

校長 小玉 芳敬

2月9日「実りの学校」には多くの保護者の皆様にご参加いただき、感謝申し上げます。附属小学校経営ビジョンに関する保護者アンケートで明らかになった弱点「教育・研究成果の広報」に関して、「実りの学校」で子供たちが見事に伝えてくれたと確信しております。「低学年における英語活動」や「プログラミング的思考とは何か」に関して1・2年生や4年生の発表をご覧になられた方は、どのようなものか合点いただけたと思います。「キャリアに拓く」では大学附属のメリットを最大限に活かしたプログラムが試みられております。保護者限定で閲覧可能な手順を整えば、他学年の保護者の皆様にも「実りの学校」の様子をご覧いただけるようにできないものかと思案中です。

本年、全国初の試みが進んでいます。プログラミング的思考のトレーニングを様々な科目や学校生活で、全学年にわたり実施し、学年末のプログラミング体験に結びつけるものです。日常生活のいろいろな場面でプログラミング的思考を意識できる子供たちが育っています。年度末をむかえ、児童の発達段階にあわせたプログラミング教材を株式会社アクシス様のご協力のもと担任団と共に開発し、その実践がまさに現在進行中です。パソコンを利用したプログラミング体験を通じて、プログラミングに対するハードルが低くなるばかりか、その有用性に気づき、「順次」「反復」「条件分岐」の基本が自然と身につく学習プログラムとなります。鳥大附小パッケージとして近い将来、全国発信できればと願っております。

さて附小には23年間の歴史を持つ国際交流プログラムもあります。春川教育大学校附設初等学校との交流は、国同士の情勢に振り回されることなく、最隣国の民間交流として、今後も強く進めていきたいと思っております。子供同士の交流、家族同士の交流、職員同士の交流を通して、互いの違いを認め合い、多様性の中から新たなものを創造していく未来志向の国際市民に子供たちを育てる点で、韓萬植校長先生と完全に合意いたしました。2019年度は7月18～19日に春川教育大学校附設初等学校の親善大使が来鳥されます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

